【小施策評価(令和元年度実績評価)】

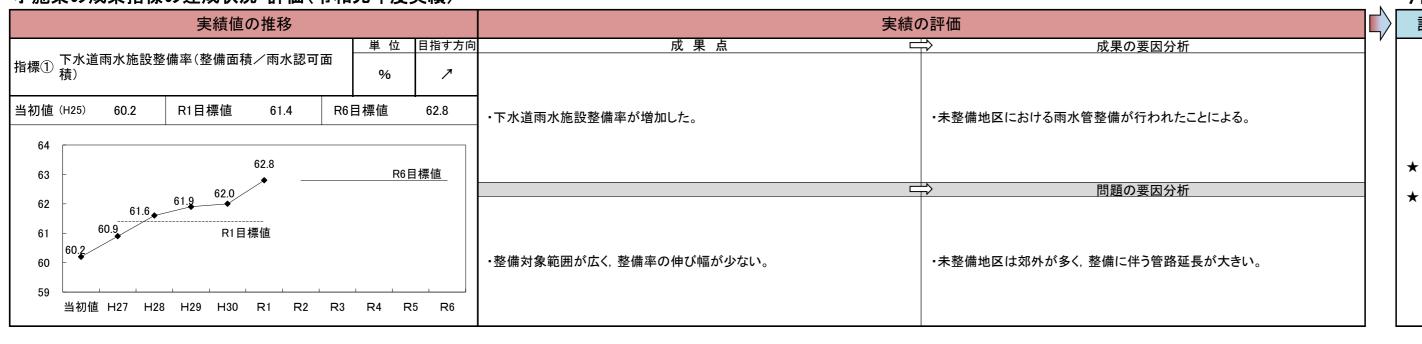
小施策の終合計画における位置付け

小旭束の松石引曲にありる世直刊り						
基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	経営企画課		
施策	26	都市基盤施設の維持・強化	評価 責任者	小笠原 美千代	内線 697-6230	
小施策	26-7	雨水浸水対策の推進	評価シート 作成者	齋藤 剛	内線 697-6231	

小旃笛の概画

	 」、心泉の似女	
	現状と課題(総合計画実施計画から転記) □	L 取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
230	近年の局地的集中豪雨による浸水防除のためにも、幹線水路の整備や面的整備を進める必要がある。ま こ、既存施設の耐震化を進めるとともに、老朽施設の大規模な改築・更新を行う必要がある。	浸水状況の把握を行い,緊急性のある雨水幹線整備を重点的に実施することにより,浸水被害を解消し,市民の 生命・財産の保護及び都市機能の確保を図る。
\dashv	対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
	雨水排水施設	浸水被害を解消し,安全な水環境を確保している。
31	市民	市民の生命・財産が保護される。
- 1	都市	都市機能が確保される。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)



今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性 ★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討

- ★ 未整備地区の幹線整備と面整備を図る。
- ★ 過去に浸水被害を受けた箇所の災害防止を図る。